

高雄の宝ハマウツボに学ぶ

～共に学び、感謝できる子に～

本校は、児童数97名、清流千種川がもたらす素晴らしい環境に囲まれ、校区には田園地帯が広がっています。隣接する河川敷には、兵庫県絶滅危惧種Aランクの「ハマウツボ」がカワラヨモギに寄生し、5月～6月にかけて紫色のかわいい花を咲かせます。この河川敷一帯を「川の駅」と呼び、縦割りのなかよし遊びや総合的な学習の舞台となっています。

3年生は、カブトムシを育てたり、ジャコウアゲハを観察したりします。4年生は、上流の佐用町に出かけて川辺の動植物に注目し、「川を守ることは、生き物を守ることにつながる」との思いを持ちました。5年生は、学校田で育苗から収穫までの米作りを行い、地域の主要産業と千種川とのかかわりについて考えます。1,2年生は、かかし作りで応援します。そして、6年生は、自然環境保護の視点からハマウツボの個体数調査や成長の様子を計測を行い、環境の変化と自分達のできることにについて思考を深めます。平成16年にわずか17本であったハマウツボが、今年は1512本と増えました。3学期には、その学びを5年生にしっかりと引き継ぎます。

これらの学びを支えてくださる水辺づくり協議会(自治会や関係団体)、学習ボランティア、PTA等の学校応援団の方々の協力を得て、深い学びが成立することに感謝しています。地道な保護活動が、ふるさとを愛する心を育み、仲間と共に学んだ経験が未来を切り拓く力となることを願っています。

(赤穂市立高雄小学校長 山根 一正)

たか お
- 赤穂市立高雄小学校 -



▲ 根っこにつながっているよ!